

論文の書き方

I. 論文とは何か

論文とは、自分で見つけた問題に対して自分で答え(仮説)を出し、その答えが正しいことを事実と論理で証明してみせるものである。

1. 論文の基本的な要素

- (1) 問題提起
- (2) 仮説の提示 (その問題の解決)
- (3) 論証 (自分の仮説を事実と論理で証明する部分)

2. 問題の見つけ方

- (1) 興味のある事柄について調べる。具体的には読書。
- (2) 読んだ中で、特に疑問を覚えた点に注目して、自分で論証できる範囲でテーマを決める。
- (3) 自分のテーマを問題点をはっきりさせるため疑問文の形にしてみる。

3. 仮説の立て方

- (1) テーマに関連する先行研究 (研究書や雑誌論文) を探す。
- (2) 先行研究から明らかになったことや疑問に思ったことを手がかりにして、問いに対する一貫性のある答えを見つけ出す。
- (3) 到達した仮説の文章化。

3. 論証の仕方

- (1) 先行研究の主張や、想定される反対意見の問題点 (弱点) を指摘する。
- (2) 自分の仮説がそれを解決できるものであることを示す。
- (3) 裏付けとなる事実を挙げ、論理を展開して自分の仮説を証明する。

II. 論文の書き方

1. 一般的な構成

- ① タイトル
- ② 要旨 (場合による)
- ③ 本文 【問題提起】、【仮説の提示】、【論証】を含む
- ④ 結論 (まとめ)
- ⑤ 注、参考文献

2. パラグラフ

- (1) パラグラフとは、論文の構成単位であり、内容的なまとまりを持つ。
これを順序よく並べていくと論文になる。
- (2) トピックセンテンスとサポーターティング・センテンス
パラグラフとは、一般に、一つのトピックセンテンスとそれを内容的に補う文から構成されている。
 - トピックセンテンス：パラグラフの中心となる文で、そのパラグラフの内容を表す。前後のパラグラフのトピックセンテンスと論理的につながる。各パラグラフの冒頭にもってくると、論文の内容を論理的に追っていくのに便利
 - サポーターティング・センテンス：トピックセンテンスを補う文でトピックセンテンスと論理的に繋がっている。トピックセンテンスの内容を言い換えた文、根拠(論理や事実)を挙げる文、前後のつながりをつける文等